



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

尾張旭ロータリークラブ

Weekly

・会長 西尾 輝久
・幹事 森 和実
・会報 福岡 健
・事務局 尾張旭市商工会館
TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail : owariasahi@mte.biglobe.ne.jp
URL : http://www.owariasahirr.jp/

本日 第1978回 2011年9月2日(金) No.1867

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「君が代」・「奉仕の理想」

卓話者:古橋エツ子君

演 題:「家庭介護の評価」

前回 第1977回 2011年8月26日(金) 記 録

斉 唱:「日も風も星も」

ゲスト:尾張旭市子ども会連絡協議会

会長 西塚 浩美様
森下かおり様

2010~2011年度 青少年交換留学生

松井 理泰君

出席者:会員29名中24名出席

出席率82.75%

前々回補正出席率は8月5日分89.66%

会員としてはこんなうれしいことはありません、今後のご活躍を期待しています。と同時に尾張旭ロータリークラブも忘れないでほしいと思います。

幹事報告

・8/25 地区職業奉仕委員長会議 於名鉄コングランドホテル 大野職業奉仕委員長出席。

・8/26 2010~2011年度青少年交換留学生 松井理泰君、尾張旭市長帰国訪問 松井理泰君、西尾会長、森幹事出席。

・本日の3分間スピーチ

小柳 和之君

・本日の会合:なし

・例会変更お知らせ:別紙

ニコボックス

高島君。ありがとう、ありがとう、もうひとつおまけにありがとう。

福岡 健君

福岡さん、リベルタを思い出しながら、命の補給をしています。ありがとうございました。古橋 裕志君

ニコボックス委員の方には大変ご迷惑をかけます。

大竹 薫君

ロータリー財団表彰



右、松下君(マルチPHF)



右、井田君(PHF)

会長あいさつ 西尾 輝久

今日は私が会長になりました、大変うれしい事があります。それは入会予定者の仲澤君の入会式があるからであります。42歳と大変若い実業家の方であります。ロータリーには年齢差は関係ありません、ロータリアンは皆平等であります。そして初めのうちはロータリー独特の言葉や決まりがあり慣れるまでにはしばらくかかるとおもいます、何しろ毎週金曜日の例会に合わせて、生活パターンを考えなくてはならないからです。でもロータリーの考え方は無理やりやらされるものではなく、自分の出来る範囲でやれば良いので、初めからあまり無理をしないで楽しんでいただきたいと思います、会員の皆さんも是非温かい気持ちで見守ってあげてください。もう一つうれしい事は、カナダへ留学していた松井君が無事元気で帰ってきました。先ほど森幹事ともども市長に帰国の報告に行っていました。残念ながら日本に交換留学生として来ていたジョルダン君は東日本大震災の影響で、途中で帰国の途に着かなければならない状況になってしまいましたが。たった1年間でありましたが日本にいる時と比べれば5年分位の人生経験が出来たのではないかとおもわれます。貴重な体験が出来たとおもいます。この経験が今後の松井君の人生に活かす事が出来れば、我々クラブ

新世代のための月間およびOFDY月間

	9月 9日(金)	9月17日(土)	9月23日(金)	9月30日(金)
例会予定	卓話者:舟橋 龍秀君 演題:「精神科医の仕事」	16日(金)振替 月見例会 良福寺書院 18:00 点鐘	法定休日(秋分の日) 例会は休日	河村ガバナー補佐訪問 卓話者:河村 金明君 (岩倉RC) 演題:「補佐訪問に因んで」

卓 話

8 / 19

国際奉仕委員会



委員長 唐井 仁一

国際奉仕委員会のメンバーは安藤公爾君、井田武憲君の3人で活動して参りますので1年間ご指導ご協力をお願い致します。委員長を任せましたが何分国際奉仕は初めての経験ですので、これから勉強をしながら一年間取り組んでいきたいと思っております。

本日は地区協議会

での地区方針と当クラブの活動方針についてお話したいと思います。まず、地区協議会についてのお話を致します。今年度のテーマは「世界の夢の実現、国際理解、親善、平和の推進」であります。戦争、貧困、飢餓、病気からの解放及び書物やその他の情報を吸収したり、さらには他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培う事によって国際理解、親善、平和を推進する為に、会員が活動して下さいということです。

冒頭に地区国際奉仕委員長と次期ガバナー補佐が挨拶されましたが印象に残った横山眞久ガバナー補佐が言われたことを紹介します。

国際奉仕活動で活躍している3人の日本人女性を紹介されました。一人目は作家の曾野綾子さんでアフリカの貧困国の子供に援助をしているんですが、アフリカの現状を一人でも多くの日本人に知ってもらい、帰国後に援助活動への協力や広報をしてもらうように現地へ行く時には必ず日本から同行者を連れて行って見える話でした。

二人目は、川島あいさん24歳の歌手であります。彼女はシンガーソングライターで日本及びアメリカで活躍をしてみえます。以前は演歌歌手を目指していたがレコードが売れず断念、その後路上ライブやユニットを結成して頭角を表す。2002年6月路上ライブを本格的に始めた時に3つの目標を掲げる。

自主制作したCDを手売り5,000枚、路上ライブ1,000回澁谷公会堂でのライブ

2003年5月に5,000枚CD手売り達成・2003年8月20日澁谷公会堂でのライブ達成・2005年3月30日路上ライブ1,000回を達成しております。彼女の生い立ちは実父が出生前に行方不明、実母は3歳の時に亡くした。児童養護施設に入所した後、川島家に養女として引き取られた。その後10歳で養父を16歳で養母を無くしている。養母の命日である8月20日には毎年メモリアルコンサートを実施している。そして彼女はエチオピアに児童養護施設、ブルキナファソに学校を私費を投じて建設した事を表明している。これらの行動に対し本人は「売名だと思われてもいい」「偽善だと思われてもいい」「何と思われようが、そこで一人でも励みに思っ

てくれる人がいればいい」といった趣旨のことを述べている。

現在は本人とスタッフにより「国際協力NGOアイラブワゴン」が設立運営されている。これまでに西アフリカを中心に、カンボジア、東ティモール、リベリアに小学校を建設しており、今後もカンボジア、バングラディシュ、中央アジアや中東にも学校建設を予定している。

三人目は山口絵里子さん20歳、難民を援助する事務局で働いていたが本当に当事国の人々に援助が行き渡っているのか疑問を抱き、自身でアジアの最貧国バングラディシュへ赴きダッカで現地の女性たちとジュートを材料にしたカバンの工場を設立され、製品を日本へ輸出し販売した売上金を還元する支援活動に取り組んでいる。

何が言いたいのかと云うと、私自身、豊田市の教育委員も務めているがどうしても枠に捕らわれがちになってしまう。視点を変えて見た奉仕活動もあるのではないかとこのことで現在の画一的な活動に対する新たな発想を求める提言がありました。

今年度の地区の活動については近隣諸国から東日本大震災に対する援助の協力もあり、グローバル補助金については震災支援に振り向ける為各クラブからの申請は今年度に限り中止とするが、国際奉仕活動については各クラブ独自で活動を行って頂きたいとの趣旨説明がありました。

世界社会奉仕(WCS)について

2010～2011年度の活動報告がありタイ及びベトナムを5日間の日程にて訪問してきた報告がありました。タイのチェンマイでは山岳民族の子供たち奨学金の贈呈を行い、ベトナムのピエンホア村ではブロック構造の幼稚園園舎の引き渡し式を行いました。ドンホイ村では障害児施設の運営費が十分でない為食糧事情が厳しいという事で、急きょ参加者でお金を出し合い現地で米を調達し1年分2トンを送りつけてきました。

RIではWCSは2010～2011年度で活動を休止している。2760地区においては今年度まで継続する。ぜひ、協力をお願いしますと依頼がありました。

ちなみに昨年の2760地区における各クラブの活動状況は地区内82クラブ中、地区プロジェクトに参加クラブ26クラブ、クラブ独自の活動40クラブ、休止・検討中・無回答17クラブとなっております。

識字率向上について

文盲により社会から置き去りにされ貧困に陥っている。その為子供たちも学校に行けず文盲イコール貧困の連鎖になっている。また、文盲の占める割合はアジアが3/4をしめているとの現状説明がありました。その後活動報告として台湾の新竹南RC合同で山岳民族の識字率向上の為移動図書館に書籍購入資金を寄贈したと報告されました。

なお、3月の向上月間の認知度が低いので高めるために地区の委員を卓話に呼んでほしい。

当クラブの活動は、地区のWCSに参加協力を前年度に続き行う予定であります。

また、もう一つの活動として国際奉仕のテーマでもあります他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を養うという目的で名古屋経営短期大学、名古屋産業大学の東南アジア方面の留学生との交流会を企画したいと思っております。中身の内容につきましては委員会の皆様とも今後打合せを行いながら進めて参りたいと思っております。私なりの案としては、日本の印象、日本に期待する事、自国の社会

状況、支援をしてほしい事等の意見交換をする中で、会員の皆様にも認識を高めて頂き当クラブの国際奉仕活動につながるヒントが見つければとも考えております。以上述べましたような事で事業を進めて参りますので宜しくお願い致します。

交換留学生市長訪問



左から西尾会長、松井交換留学生、谷口市長

卓 話

8 / 2 6

2010-11年度青少年交換留学生

松井 理泰



一年間の交換留学生生活を終えて期待だけを胸に日本を出発した2010年8月20日。いよいよ最高の一年が始まるうとしていました。新たな故郷となるレジャイナの地に12時間の長旅の末降り立ちカナダの涼しさに驚きながらゲ

ートをくぐると地元のロータリアンの方々が笑顔で迎えに来てくれました。空港を出ると自分の周りにあるもの全てが開けてみえこれからの生活に対する大きな喜びと気持ちの高ぶりを覚えました。こんなにも気持ちが晴れ晴れしていたことは今までにありませんでした。いうまでもなくそれからの一年間、辛いと思ったことはただの一度もありませんでした。

私はカナダという多民族多文化国家で大変多くのことを学びました。

文化が違うものが混ざり合っているのに調和しあっている不思議さ、人種差別というものに対して一人ひとりが厳しく望む姿勢。日本では普段見られない機会に恵まれました。

一年間の留学で大きく自分に影響を与えたのは各国の留学生達でした。

最初のオリエンテーションでの出会い。それは新鮮で強い衝撃を受けました。彼らとは直感で

生涯の友になると思えました。毎月の交流オリエンテーションではいろいろな国の違いを話し合ったり共通点を見つたりお互いの意見を主張したりしてとても楽しく、国は違えど共通点が多くあることに僕はただ感動しました。一番の思い出となったのは二週間のカナダ旅行でした。全行程をバスで移動し様々なカナダの美しい土地を見て、共同生活を過ごす中で一生のうちで大切な友情を育みました。つながりは大切にしたいです。

私は出発する前には、自分の心を閉ざしている傾向にありました。

そして留学によって昔の元気のよかった活発な自分を取り戻したいという思いがありました。留学する前は、多くの人の反対もありました。しかし今このように帰ってきて思うのは自分は全く間違っていなかった、信じていたことは正しかったと言えることです。

これからの人生困難なことも多くあると思いますが、自分の道を信じて進んでいきたいと思えます。この交換留学にあたって、多大なるご支援を頂いた尾張旭ロータリクラブの皆様には感謝してもしきれない気持ちでいっぱいです。今後は帰国生として青少年交換プログラムの素晴らしさを伝えていこうと考えています。

8 / 2 6

職業奉仕委員会

委員長 大野 良之



昨日(8月25日)、地区の職業奉仕委員長会議があり、出席してきました。会議では、関口宗男地区研修委員会委員長と片山主水PGの職業奉仕についての講演がありました。しかし、今年は、例年のような地区外講師による講演はありませんでした。その代わりに、本会議資料として各クラブの委員長宛に事前に送られてきた12項目にわたる質問事項について、10数人毎に「コの字型」に着席したグループ内で、ディスカッション・リーダーから誰か一人に各質問項目の回答が求められ、相互ディスカッションが行われました。質問事項のいくつかを例示しますと、「アーサー・フレデリック・シェルダンを知っていますか」、「彼のいう<サービス学>を知っていますか」、「職業奉仕の考え方の基本は誰が作ったのでしょうか」、「ベンジャミン・フランク・コリンズはロータリーに

対して何をした人でしょうか」、「1950年の世界大会で採択されたロータリーの公式標語は何ですか」、「四つのテストの四つは何で、誰が作ったのでしょうか、また彼はどんな人ですか」、「四つのテストと職業奉仕の関わりは？」などなどでした。最後の12番目の質問項目は「職業奉仕と社会奉仕の大きな違いは何でしょうか」であり、ディスカッション・リーダーから私が指名されて、その回答を求められた。（職業奉仕はプロとしての奉仕で、受益者がロータリアン自身。利益を得ず、無償で奉仕するのが社会奉仕で、受益者はロータリアン以外の人達となる。つまり、受益者が誰かを考えれば、違いは明白です・・・ね）。さて、我クラブの職業奉仕委員会では特に本年は、「四つのテスト」を忘れることのない、各個人の職業実践は勿論、日常の生活姿勢を求めますので、改めて各会員の皆様は職業奉仕の意味を認識して実践続行をお願いいたします。また、本年は「尾張旭市給食センター」を職場訪問しますが、食中毒予防の観点からの見学・討論および当日給食試食会に参加される地域住民の方々との交流も積極的に行ってください。

子ども会メダル贈呈式

日時 2011年9月3日(土)

場所 尾張旭市南グランド

尾張旭市内小学生スポーツ大会の優勝・準優勝。三位のメダルの贈呈式が行われました。



子ども会 西塚会長(中央)

ふれあい夏まつり



あいさつをする山田直前会長

東日本震災ボランティア隊
(名古屋産業大学・名古屋短期大学の皆さん)



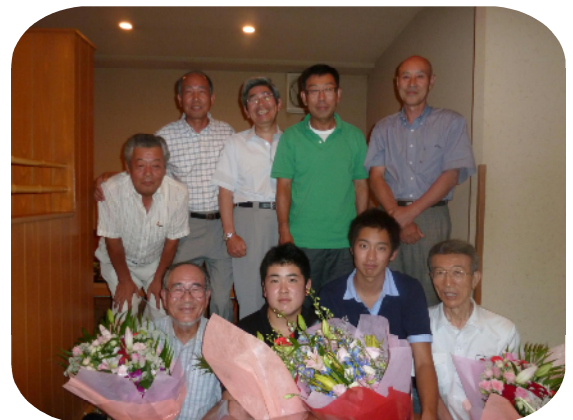
交換留学生・ホストファミリー 慰労会

と き：2011年8月26日(金) 19:00～

ばしょ：べったんこ (尾張旭市印場元北山)



左から
加藤ホストファミリー
松井理泰君
(留学生)
松井君
(留学生の弟)
西尾会長



参加者で記念撮影

入会式



新入会員紹介

なかざわ まさよし

会 員 名：仲澤 昌容

生年月日：1969年(S44)7月27日生

事 業 所：プラス・アルファ(株)

所 在 地：名古屋市名東区山の手一丁目601

電 話：052-774-7757

役 職：代表取締役

職業分類：不動産仲介業

家 族：夫人、子供3人

趣 味：野菜作り、子供と遊ぶこと。